

労働市場の概要（平成30年7月）

岡山労働局 職業安定課
Tel 086-801-5103

雇用情勢

平成30年7月の有効求人倍率(季節調整値)は、2.02倍となり、前月に比べ0.07ポイント上昇。

前月と比較して、有効求人数(季節調整値)は0.7%増加し、有効求職者数(季節調整値)は3.0%減少した。また、新規求人数(季節調整値)は0.4%減少し、新規求職者数(季節調整値)は7.0%減少した。

新規求人数(原数値)を産業別に前年同月と比較すると、主な産業では、建設業(18.1%増)、製造業(11.4%増)、運輸業・郵便業(7.6%増)、宿泊業・飲食サービス業(23.7%増)、医療・福祉(1.1%増)、サービス業(他に分類されないもの)(0.9%増)で増加したものの、卸売・小売業(16.4%減)で減少したことから、全体でも対前年同月比0.7%減と2ヶ月連続で減少した。

新規求職者数(原数値)は、前年同月比で9.7%減と11ヶ月連続で減少した。

有効求人倍率(季節調整値)は、44年ぶりに2倍台となり、求人が求職を大幅に上回る状況が続いている。

県内の雇用情勢は、着実に改善が進む中、求人が求職を大幅に上回って推移している。

1 有効求人倍率(季節調整値)

7月の有効求人倍率は2.02倍となり、前月に比べ0.07ポイント上昇。

(1)有効求人(パートを含む)

○ 7月の有効求人は53,553人で、対前年同月比(原数値比較)で4.3%増加し、対前月比(季節調整値比較)では0.7%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で35ヶ月連続の増加となった。

(2)有効求職(パートを含む)

○ 7月の有効求職は27,894人で、対前年同月比(原数値比較)で5.5%減少し、対前月比(季節調整値比較)では3.0%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で16ヶ月連続の減少となった。

(3)7月の正社員の有効求人倍率は1.43倍(原数値)となった。

2 新規求人倍率(季節調整値)

7月の新規求人倍率は2.84倍となり、前月に比べ0.19ポイント上昇。

(1)新規求人(パートを含む)

○ 7月の新規求人は18,299人で、対前年同月比(原数値比較)で0.7%減少し、対前月比(季節調整値比較)では0.4%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で2ヶ月連続の減少となった。

○ 産業別新規求人状況(対前年同月比)は、

建設業 18.1%の増加(5ヶ月連続の増加)

製造業 11.4%の増加(5ヶ月連続の増加)

運輸業・郵便業 7.6%の増加(2ヶ月ぶりの増加)

卸売・小売業 16.4%の減少(2ヶ月連続の減少)

宿泊業・飲食サービス業 23.7%の増加(3ヶ月連続の増加)

医療・福祉 1.1%の増加(27ヶ月連続の増加)

サービス業 0.9%の増加(2ヶ月ぶりの増加)

(他に分類されないもの)

(2)新規求職(パートを含む)

○ 7月の新規求職は6,041人で、対前年同月比(原数値比較)で9.7%減少し、対前月比(季節調整値比較)では7.0%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)は11ヶ月連続の減少となった。

3 雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は597,245人で、対前年同月比0.4%の増加となり、103ヶ月連続で増加した。

また、受給者実人員(基本分)は6,424人で、対前年同月比0.03%の増加となり、受給率は1.1%となった。